資料１

# デマンド乗合タクシーサービス拡充事業及び御前崎市 AI オンデマンド交通に係る書面審議の結果について

企画政策部地域振興課

## １　デマンド乗合タクシーサービス拡充事業

### （１）公聴会等の手法について

【パブリックコメントの実施】

| | |
|---|---|
| 案　件　名 | デマンド乗合タクシーサービス拡充事業に係る運賃設定について |
| 期間 | 令和８年６月25日（木）から令和８年７月２４日（金）まで |
| 募集方法 | 市公式HP、市公式LINEによる意見募集 |

### （２）パブリックコメント結果

・１人　１件（地頭方地区　男性　オンライン受付）

| 意見 | 回答・対応 |
|---|---|
| 運賃設定は提案で良いと思います、今回の拡充以外見直して欲しいのは　①市内個人病院へのどの地区からも運行可能（現在は地頭方から旧榛原町の個人病院へ行けない：現在妻が玉井医院へ通っていますが榛原病院からは暑くも寒くも徒歩です）　②運行可能曜日を増やして欲しい（医院により休診日が有りますので現在の月・木では実質可能日が１日です）<br>☆車の無い生活者をしていますとデマンドは大変助かっています、これから年齢を重ねるとますます出にくくなります、個人的意見ですが宜しく御配慮願います。 | ①につきましては、旧町単位の移動を拡大することでの配車の影響を確認しながら、実現に向けて検討してまいります。<br>②につきましては、自主運行バスや本件の土日祝日運行を活用していただければと思いますが、平日運行の増便についても引き続き検討してまいります。 |

### （３）書面審議結果及び委員の意見

【ア　事業実施】

第１回公共交通会議（6/22）で承認済み

【イ　運新設定】

結果：承諾する

意見

| 委員 | 事務局回答 |
|---|---|
| 本事業における吉田町乗り入れバス停について、片岡北吉田特別支援学校バス停（特急静岡相良線、藤枝相良線）と吉田 IC 入口バス停（特急静岡相良線、藤枝相良線、島田静波線）は２路線が重複しているため、片岡北～バス停の１箇所に限定できないか。 | 今回移動が可能となる坂部区、牧之原地区、勝間田区は市内北部に位置し、片岡北よりも吉田 IC が近いことから、利用者の利便性の観点から両バス停といたしました。 |
| 牧之原地区に内科医院「おなか堂」が開設されました。登録施設に追加した方が良いのでは。 | 医院からも電話をいただいたため、通常のデマンドと併せて追加の手続きを進めます。 |

## ２　御前崎市 AI オンデマンド交通

（１）書面審議結果及び委員の意見

【ア　牧之原市内乗り入れ】

結果：承諾する

意見

| 委員 | 事務局回答 |
|---|---|
| 停留所位置については、既存の路線バスの停留所位置や地元交通事業者と十分に調整を行った上で設置をしてもらいたい | 牧之原市公共交通会議で作成する別添承諾書の条件において、十分な調整を図った上で、店舗敷地内への乗り入れを記載いたします。 |
| 停留所については交通事故防止の観点から、いずれも店舗敷地内に設定するようお願いします。 | |
| 実証運行については承諾するが、運行事業者の中に御前崎タクシーが入っているので東海タクシーが承知している必要がある。運賃も安めに設定しているので、競合しないか心配である。 | 東海タクシー様から承諾いただきました。（乗り入れは地頭方地域であるため、競合の心配はないと思われます） |
| しずてつジャストラインの相良営業所と相良本通を入れてほしい。（比木、朝比奈地区限定で）（特急静岡相良線、藤枝相良線、萩間線に接続） | 御前崎市とともに相良市街地のバス停への乗り入れを協議してまいります。 |

【イ　運賃設定】

結果：承諾する

意見

| 委員 | 事務局回答 |
|---|---|
| 乗車クレジットの割引率が、前金が多いほど値引になっているのが驚きました。（１万円で 40％ OFF の 6,000 円！） | （本市デマンドにおいても参考とさせていただきます） |

資料１－２

# デマンド乗合タクシーサービス拡充事業について

（企画政策部地域振興課）

## １　目的

デマンド乗合タクシーは、令和４年に全域導入を達成し、主に高齢者の移動手段として年間約 4,200 人が利用している。

現在も、毎年改善を加えながら運行を続けているが、今年度は、デマンド乗合タクシーが運行していない土日祝日の実証運行を実施し、土日祝日の需要把握や、平日の予約集中時間帯の分散化の効果検証を行う。

## ２　事業内容

| | |
|---|---|
| ①運行形態 | タクシー事業者に運行委託するデマンド乗合タクシー |
| ②運行期間 | 令和８年９月５日（土）から令和９年１月 31 日（日）<br>※年末年始の 12 月 29 日から１月３日までは運休 |
| ③運行区域 | ・牧之原市内　・吉田町の一部　・御前崎市の一部 |
| ④旅客範囲 | 市内に住所を有する者（要　会員登録）<br>・一般利用者は、土日祝日のみ利用可能 |
| ⑤運行曜日 | 土曜日、日曜日、祝日※年末年始を除く　運行予定日数：49 日 |
| ⑥運行便数 | 日８便～15 便（往路、復路の区別なし） |
| ⑦運行時間 | 榛原地域デマンド：10:00～17:00（30 分毎　15 便）<br>相良地域デマンド：10:00～17:00（１時間毎　８便）<br>※各時間に予約枠あり<br>※地域によって待機台数が異なるため、時刻設定に差がある。 |
| ⑧目的地 | 病院、スーパー等、公共施設（現行デマンドと同じ）<br>土日祝日追加乗降場所（一部の号では直通不可）<br>・高校：榛原高校、相良高校<br>・運動施設：榛原総合運動公園ぐりんぱる、相良総合グラウンド<br>・市外拠点バス停（一部の地域のみ利用可能）<br>（吉田町）吉田 IC 入口、片岡北吉田特別支援学校<br>※坂部地区、勝間田地区、牧之原地区デマンドのみ<br>（御前崎市）浜岡営業所<br>※地頭方地区デマンドのみ |
| ⑨片道運賃 | 現行のデマンドと同じ（追加乗降場所も同じ運賃区分） |
| ⑩事業者 | 榛原地域：東海タクシー株式会社（牧之原市静波）<br>相良地域：御前崎タクシー株式会社（御前崎市） |

| | |
|---|---|
| ⑪予約方法<br>※タクシー会社による予約受付はしない | 静岡県が今年度から運用を開始する「共同利用型」公共ライドシェアプラットフォームを活用<br>(1)電話予約：県設置のプラットフォームコールセンターに電話<br>(2)オンライン予約：市で運用する Logo フォームを通じて予約<br>【予約入力内容】<br>・予約便　・名前　・住所　・電話番号　・乗降場所<br>・乗車人数　・車いす対応の有無<br>(3)予約期限（事前予約制）<br>ア　土曜日は水曜日 20:00 まで<br>イ　日曜日は木曜日 20:00 まで<br>ウ　土日以外の祝日<br>・9 月のシルバーウィークは、前週の木曜日まで<br>・10 月から 1 月の祝日は、前週の木曜日まで<br>※乗合のため、前後 15 分程度のずれがある旨は予約時にお知らせする |

## ３　周知方法

・市ホームページ、市公式 LINE、広報まきのはら 9 月号、８月班組回覧
・現行のデマンド利用者へ案内を通知（R8 実利用者約 180 人）

牧之原市からのお知らせ

回覧

休日のおでかけに、新しい選択肢。

# デマンド乗合タクシー 土日・祝日 実証運行スタート!

土日・祝日ももっと便利に!

## たとえば こんなお出かけができます

### 買い物に




デマンドでラクラクお買い物へ♪

### 部活動や習い事に




市内高校などへも行けちゃう♪

### イベントやおでかけに




家族でのおでかけももっと便利に♪

## 土日祝デマンドは、誰でも利用可能!

要事前登録

**実証運行期間**

令和8年
9月5日(土)～
令和9年1月31日(日)

※年末年始(12/29～1/3)は運休

**運賃は300円～**

※行き先によって運賃は異なります。

**オンライン予約ができます!**

予約フォームは後日、
市公式LINE・ホームページなどでお知らせ

## 運行概要

**運行区域**
市内、吉田町の一部、御前崎市の一部

**対象者**
市内に住所を有する者

**運行曜日**
土曜日、日曜日、祝日

**会員登録フォーム**

次のいずれかに当てはまる場合はこちら
・75歳以上
・運転免許非保有
・障害者手帳保有
・要介護・要支援認定者

上記に当てはまらない方はこちら

## 運行時間

**榛原地域**
10:00～17:00
30分ごと（15便）

**相良地域**
10:00～17:00
1時間ごと（8便）

## 目的地

従来のデマンドの行先（病院、スーパー、ドラッグストア、公共施設等）に加えて以下の行先が追加になります。

**高校**
・榛原高校
・相良高校

**グラウンド等**
・榛原総合運動公園 ぐりんぱる
・相良総合グラウンド

**バス停**
・吉田IC入口
・片岡北吉田特別支援学校
・浜岡営業所

※バス路線維持のため、**号によって行ける範囲が異なります。**号ごとの目的地一覧は後日ホームページに公開予定です。

## ご利用の流れ

1. **予約する**
   予約は電話またはオンラインで可能です。
   オンライン予約フォームは、後日市公式LINE・市ホームページなどでお知らせします。
2. **予約した時間にタクシーが自宅等に到着**
3. **目的地へ**
   他の方と乗り合いながら目的地までお送りします。

※乗合のため、ご自宅等への到着時間が前後する場合があります。

## 予約期限

予約期限を過ぎると予約できませんので、ご注意ください。

| 土曜日利用の場合 | 日曜日利用の場合 | 祝日利用の場合 |
|---|---|---|
| 水曜日20時まで | 木曜日20時まで | 前週の木曜日20時まで |

※9月のシルバーウィーク（9/19～23）は、前週の木曜日（9/10）20時までが予約期限となります。

## ■問い合わせ先■

牧之原市役所　企画政策部地域振興課　空港交通係
☎ 0548-23-0053（受付時間：平日8:15～17:00）
✉ kotsu@city.makinohara.lg.jp

制度についてご不明な点等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

資料2

# 萩間線 OD 調査結果について

（牧之原市地域振興課）

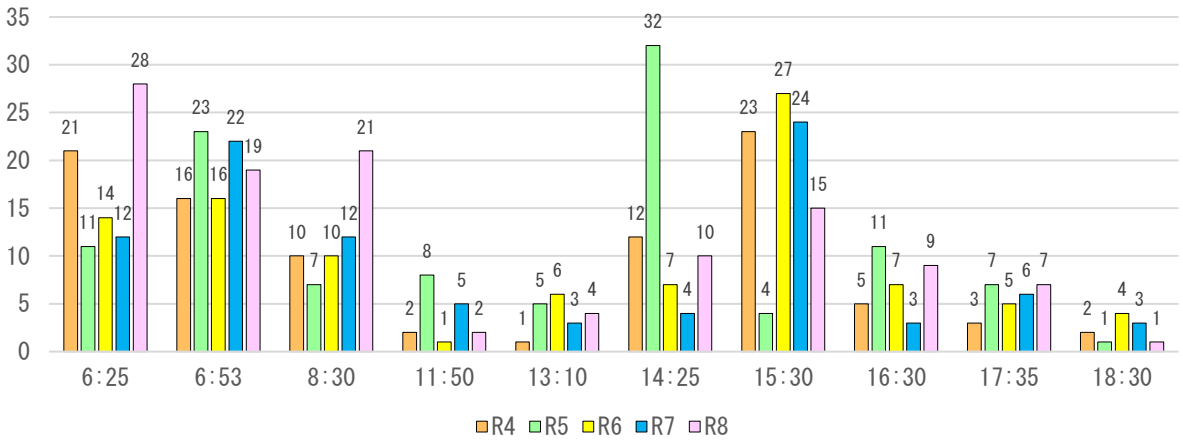
## 1　調査日　令和８年７月 10 日（金）　　天候：晴れ

## 2　調査結果

### （１）時間帯別

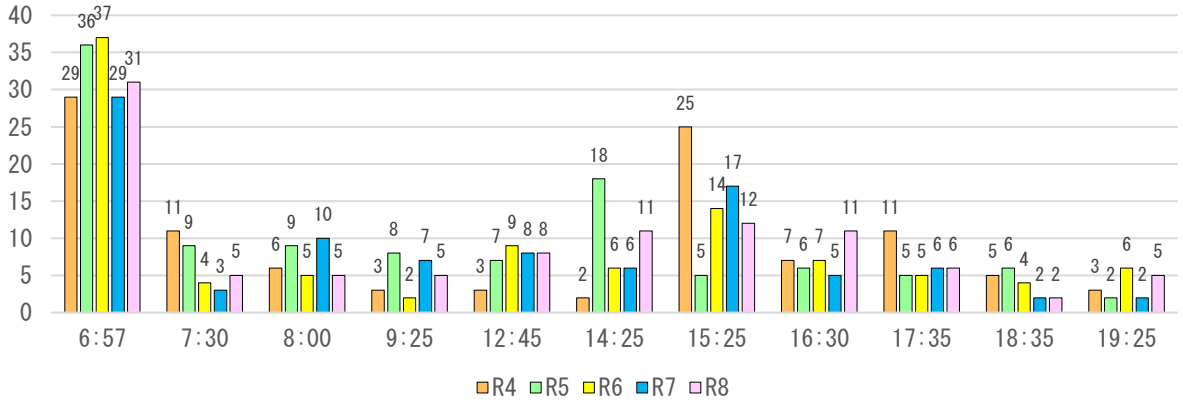
金谷駅前（金谷小学校）行　　（人）

| | 6:25 | 6:53 | 8:30 | 11:25 | 13:10 | 14:25 | 15:30 | 16:30 | 17:35 | 18:30 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 28 | 19 | 21 | 2 | 4 | 10 | 15 | 9 | 7 | 1 | 116 |
| R7 | 12 | 22 | 12 | 5 | 3 | 4 | 24 | 3 | 6 | 3 | 94 |
| R6 | 14 | 16 | 10 | 1 | 6 | 7 | 27 | 7 | 5 | 4 | 97 |
| R5 | 11 | 23 | 7 | 8 | 5 | 32 | 4 | 11 | 7 | 1 | 109 |
| R4 | 21 | 16 | 10 | 2 | 1 | 12 | 23 | 5 | 3 | 2 | 95 |




相良本通行　　（人）

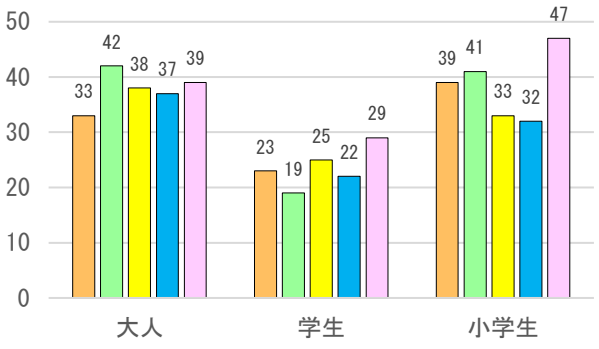
| | 6:55 | 7:30 | 8:00 | 9:25 | 12:20 | 14:25 | 15:25 | 16:30 | 17:28 | 18:35 | 19:25 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 31 | 5 | 5 | 5 | 8 | 11 | 12 | 11 | 6 | 2 | 5 | 101 |
| R7 | 29 | 3 | 10 | 7 | 8 | 6 | 17 | 5 | 6 | 2 | 2 | 95 |
| R6 | 37 | 4 | 5 | 2 | 9 | 6 | 14 | 7 | 5 | 4 | 6 | 99 |
| R5 | 26 | 9 | 9 | 8 | 7 | 18 | 5 | 6 | 5 | 6 | 2 | 111 |
| R4 | 29 | 11 | 6 | 3 | 3 | 2 | 25 | 7 | 11 | 5 | 3 | 105 |



## （２）利用者区分別

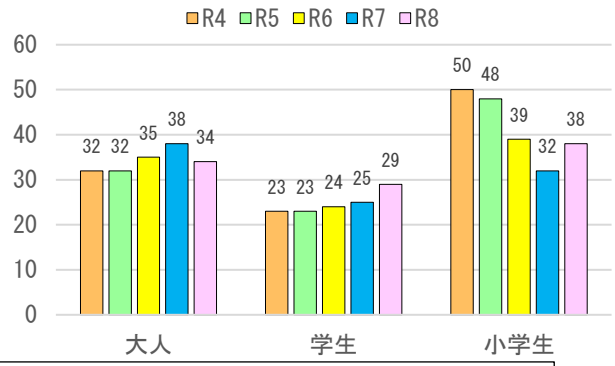
金谷駅前（金谷小学校）行　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 39 | 29 | 47 | 1 | 116 |
| R7 | 37 | 22 | 32 | 3 | 94 |
| R6 | 38 | 25 | 33 | 1 | 97 |
| R5 | 42 | 19 | 41 | 7 | 109 |
| R4 | 33 | 23 | 39 | 0 | 95 |




相良本通行　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 34 | 29 | 38 | 0 | 101 |
| R7 | 38 | 25 | 32 | 0 | 95 |
| R6 | 35 | 24 | 39 | 1 | 99 |
| R5 | 32 | 23 | 48 | 8 | 111 |
| R4 | 32 | 23 | 50 | 0 | 105 |

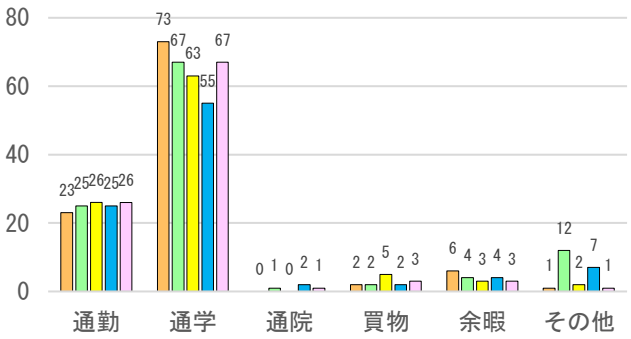



・利用時間帯としては、朝の通勤通学、夕方の下校による利用が多く、他路線と比較すると日中も一定数が利用している。
・利用者は減少傾向から微増へと変化した。
・小学生（牧之原小学校・金谷小学校）への登下校利用が多い。
・勝間田線や相良御前崎線と比較すると利用者区分のバランスが取れているため、小学生から大人まで全年齢が使用するバス路線である。

## （３）利用目的別

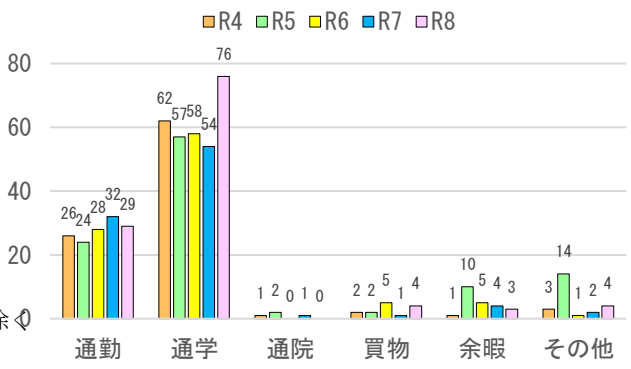
金谷駅前（金谷小学校）行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 29 | 76 | 0 | 4 | 3 | 4 |
| R7 | 32 | 54 | 1 | 1 | 4 | 2 |
| R6 | 28 | 58 | 0 | 5 | 5 | 1 |
| R5 | 24 | 57 | 2 | 2 | 10 | 14 |
| R4 | 26 | 62 | 1 | 2 | 1 | 3 |




相良本通行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 26 | 67 | 1 | 3 | 3 | 1 |
| R7 | 25 | 55 | 2 | 2 | 4 | 7 |
| R6 | 26 | 63 | 0 | 5 | 3 | 2 |
| R5 | 25 | 67 | 1 | 2 | 4 | 12 |
| R4 | 23 | 73 | 0 | 2 | 6 | 1 |




## （４）令和８年度 OD 調査利用頻度別　※小学生を除く

①利用頻度

| 金谷駅前（金谷小学校）行 | | | | | 相良本通行 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 偶々<br>月数回 | 週１ | 週2～4 | 週５ | | 偶々<br>月数回 | 週１ | 週2～4 | 週５ |
| 通勤 | 4 | 0 | 1 | 21 | 通勤 | 6 | 3 | 2 | 16 |
| 通学 | 1 | 0 | 2 | 26 | 通学 | 2 | 2 | 0 | 24 |
| 病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 病院 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 買物 | 1 | 3 | 0 | 0 | 買物 | 3 | 0 | 0 | 0 |
| 余暇 | 2 | 0 | 1 | 0 | 余暇 | 2 | 1 | 0 | 0 |
| その他 | 3 | 0 | 0 | 0 | その他 | 1 | 0 | 0 | 0 |

②出発地・目的地　※実績１名以上の出発地・目的地を記載

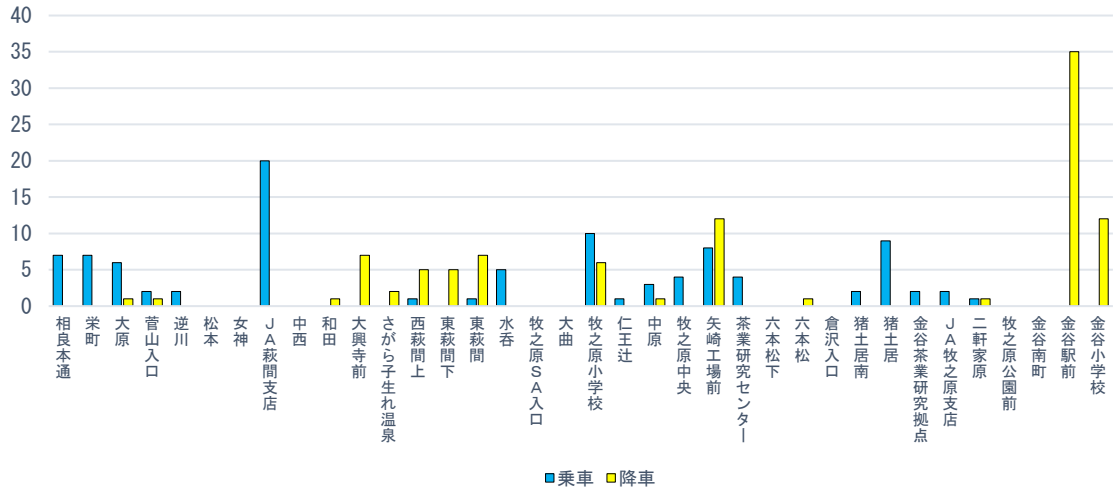
| 目的地<br>※金谷駅からどこに行くか | | 出発地<br>※どこから金谷駅に来たか | |
|---|---|---|---|
| 静岡駅 | 11 | 島田駅 | 9 |
| 掛川駅 | 4 | 静岡駅 | 7 |
| 島田駅 | 3 | 焼津駅 | 2 |
| 藤枝駅 | 2 | 愛知県 | 2 |
| 六合駅 | 2 | 浜松駅 | 1 |
| 菊川駅 | 1 | 藤枝駅 | 1 |
| 焼津駅 | 1 | 掛川駅 | 1 |
| 袋井駅 | 1 | 六合駅 | 1 |
| 東京都 | 1 | 磐田駅 | 1 |
| 磐田駅 | 1 | 菊川駅 | 1 |
| | | 愛野駅 | 1 |
| | | 牧之原市 | 1 |

③通学学校別

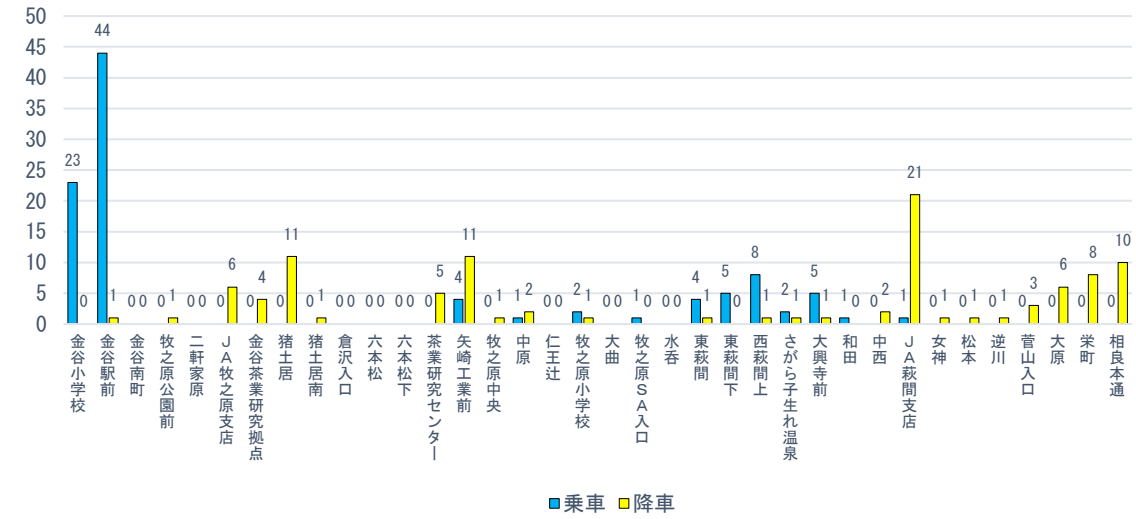
| ①金谷駅前（金谷小学校）行 | | ②相良本通行 | |
|---|---|---|---|
| 島田工業高校 | 8 | ふじのくに国際高校 | 10 |
| ふじのくに国際高校 | 7 | 島田工業高校 | 7 |
| 相良高校 | 5 | 相良高校 | 6 |
| 常葉大学 | 2 | 島田高校 | 1 |
| 掛川西高校 | 1 | 焼津高校 | 1 |
| 島田高校 | 1 | 小笠高校 | 1 |
| 静岡理工科大学 | 1 | 島田実業高校 | 1 |
| 吉田特別支援学校 | 1 | 常葉菊川中 | 1 |
| 科学技術高校 | 1 | 静岡理工科大学 | 1 |
| 島田実業 | 1 | 常葉大学 | 1 |
| 常葉菊川中 | 1 | 科学技術高校 | 1 |

④乗降場所

**金谷駅前（金谷小学校）行**




**相良本通行**




・利用目的別では、小学生～大学生までの「通学」が半数以上を占め、週５で当該路線を利用している割合が高い。
・金谷根岸町にある「ふじのくに国際高等学校」への通学が増えている。フレックス制の学校であるため、通常の登下校時間とは別の時間帯でバスを利用する可能性がある。
・金谷駅前行きでは、各停留所で乗車があり、ほとんどが金谷駅前で降車。相良本通行きでは、ほとんどが金谷駅前で乗車し、各停留所で降車している。JA 萩間支店での降車は萩間小学校の児童である。

# 勝間田線 OD 調査結果について

（牧之原市地域振興課）

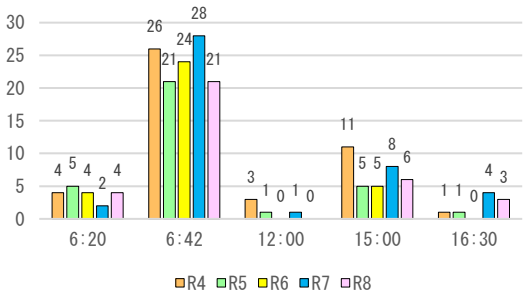
## 1　調査日　令和８年６月 25 日（木）　　天候：雨

## 2　調査結果

### （１）時間帯別

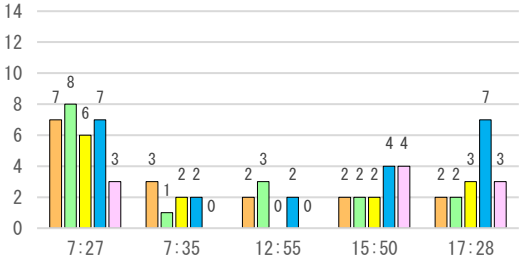
**金谷駅前（金谷小学校）行**　　（人）

| | 6:20 | 6:42 | 12:00 | 15:00 | 16:30 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 4 | 21 | 0 | 6 | 3 | 34 |
| R7 | 2 | 28 | 1 | 8 | 4 | 43 |
| R6 | 4 | 24 | 0 | 5 | 0 | 33 |
| R5 | 5 | 21 | 1 | 5 | 1 | 33 |
| R4 | 4 | 26 | 3 | 11 | 1 | 45 |




**静波海岸入口（榛原総合病院）行**　　（人）

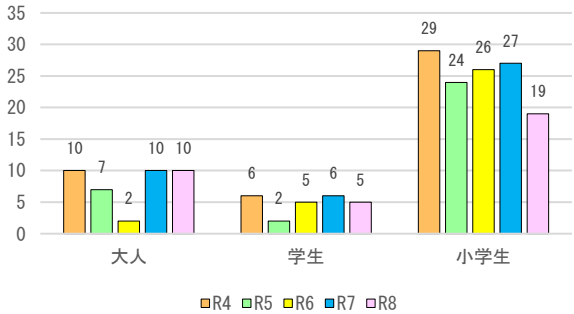
| | 7:27 | 7:35 | 12:55 | 15:45 | 17:28 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 3 | 0 | 0 | 4 | 3 | 10 |
| R7 | 7 | 2 | 2 | 4 | 7 | 22 |
| R6 | 6 | 2 | 0 | 2 | 3 | 13 |
| R5 | 8 | 1 | 3 | 2 | 2 | 16 |
| R4 | 7 | 3 | 2 | 2 | 2 | 16 |




### （２）利用者区分別

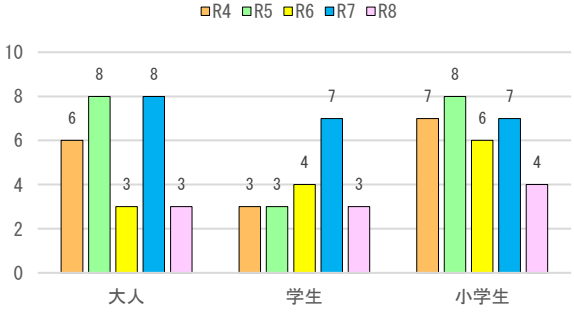
**金谷駅前（金谷小学校）行**　　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| R8 | 10 | 5 | 19 | 34 |
| R7 | 10 | 6 | 27 | 43 |
| R6 | 2 | 5 | 26 | 33 |
| R5 | 7 | 2 | 24 | 33 |
| R4 | 10 | 6 | 29 | 45 |




**静波海岸入口（榛原総合病院）行**　　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| R8 | 3 | 3 | 4 | 10 |
| R7 | 8 | 7 | 7 | 22 |
| R6 | 3 | 4 | 6 | 13 |
| R5 | 8 | 3 | 8 | 19 |
| R4 | 6 | 3 | 7 | 16 |

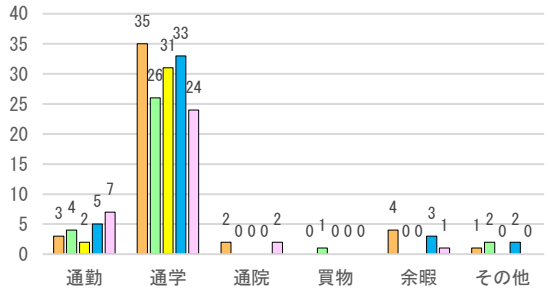



・6:42 発の便は、利用者の半数以上が金谷小児童の使用。その他は高校等への通学利用が多く、金谷駅からの乗り継ぎが見られる。
・7:27 発の便には勝間田小学校の児童が乗車。利用する児童数が少ない。
・昼間の乗車数は過去５年間で大きな変化は見られず、低い状況が続いている。
・路線の利用者 59%が小学生（学生 16%。大人 25%）となっている。

## （３）利用目的別

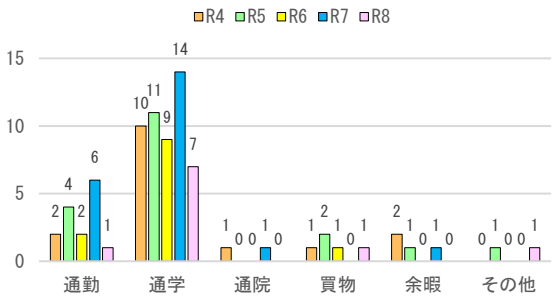
**金谷駅前（金谷小学校）行**　　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 娯楽 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 7 | 24 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| R7 | 5 | 33 | 0 | 0 | 3 | 2 |
| R6 | 2 | 31 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| R5 | 4 | 26 | 0 | 1 | 0 | 2 |
| R4 | 3 | 35 | 2 | 0 | 4 | 1 |




**静波海岸入口（榛原総合病院）行**　　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 娯楽 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 1 | 7 | 0 | 1 | 0 | 1 |
| R7 | 6 | 14 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| R6 | 2 | 9 | 0 | 1 | 0 | 0 |
| R5 | 4 | 11 | 0 | 2 | 1 | 1 |
| R4 | 2 | 10 | 1 | 1 | 2 | 0 |




## （４）令和８年度 OD 調査利用頻度別　※小学生を除く

### ①利用頻度（※月１、２回などは「偶々」に含める）

| 金谷駅前（金谷小学校）行 | 偶々 | 週１ | 週２～４ | 週５ |
|---|---|---|---|---|
| 通勤 | 1 | 0 | 2 | 4 |
| 通学 | 1 | 0 | 0 | 4 |
| 病院 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| 買物 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 余暇 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |

| 静波海岸入口（榛原総合病院）行 | 偶々 | 週１ | 週２～４ | 週５ |
|---|---|---|---|---|
| 通勤 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 通学 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 病院 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 買物 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| 余暇 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 |

### ②出発地・目的地　※実績１名以上の出発地・目的地を記載

| 目的地 ※金谷駅からどこに行くか | |
|---|---|
| 静岡駅 | 1 |
| 浜松駅 | 1 |
| 藤枝駅 | 2 |
| 島田駅 | 3 |
| 磐田駅 | 1 |

| 出発地 ※どこから金谷駅に来たか | |
|---|---|
| 静岡駅 | 2 |
| 島田駅 | 2 |

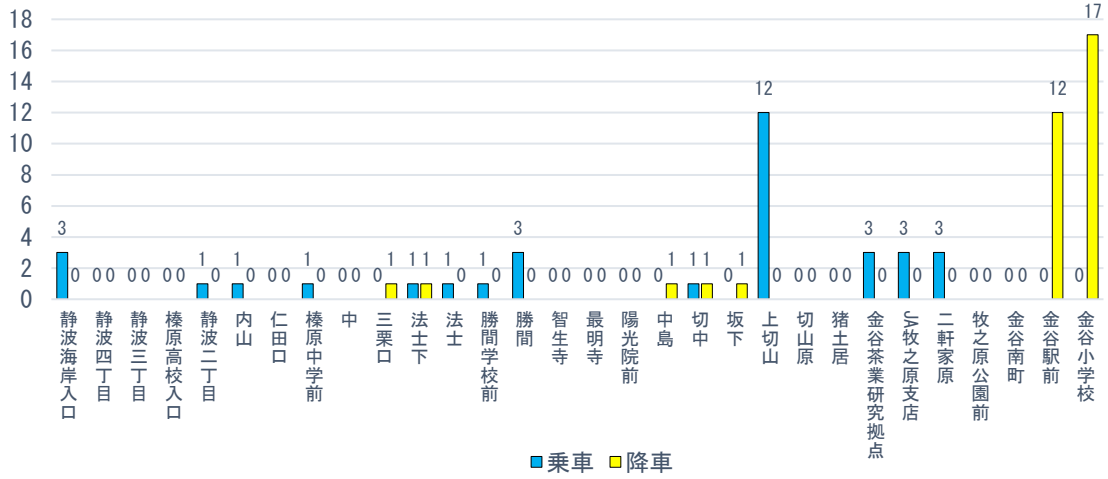
### ③通学学校別

| ①金谷駅前（金谷小学校）行 | |
|---|---|
| 島田樟誠高等学校 | 1 |
| ふじのくに国際高等学校 | 2 |
| 島田実業高等専修学校 | 1 |
| 常葉大附属菊川高等学校 | 1 |

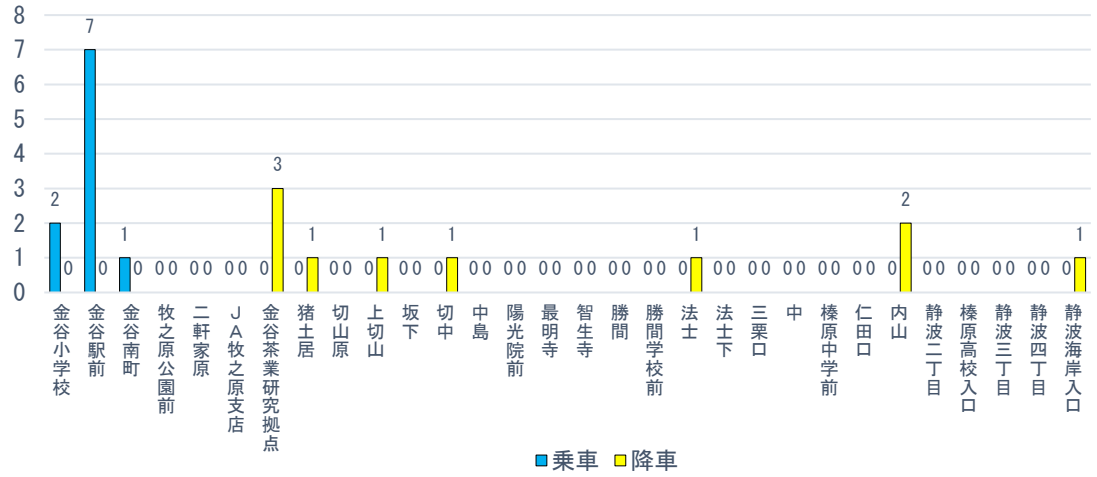
| ②静波海岸入口（榛原総合病院）行 | |
|---|---|
| ふじのくに国際高等学校 | 3 |

④乗降場所別

**金谷駅前（金谷小学校）行**




**静波海岸入口（榛原総合病院）行**




・利用者数が減少
・通勤・通学の利用が大半で、買い物や病院など日常的な目的で利用する人数は少数
・通勤や通学では、週５日バスを利用している割合が高い。
・金谷駅根岸町にある「ふじのくに国際高等学校」への通学が増えている。フレックス制の学校であるため、通常の登下校時間とは別の時間帯でバスを利用する可能性がある。
・乗降のないバス停が多い。

# 相良浜岡線 OD 調査結果について

（牧之原市地域振興課）

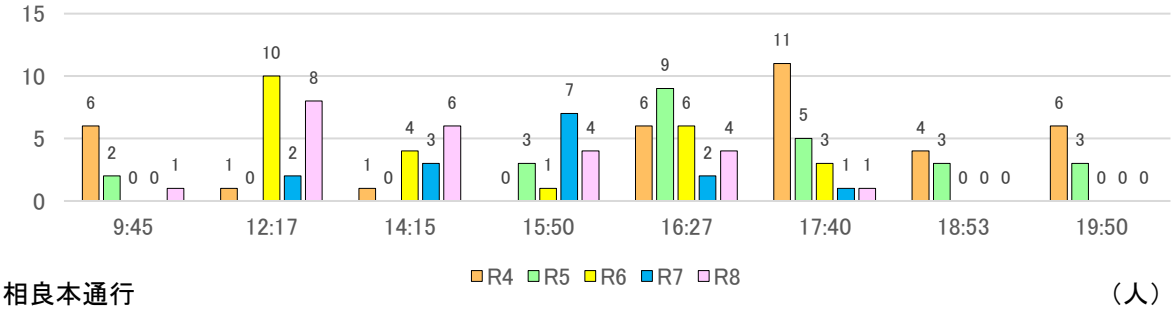
## 1　調査日　令和８年７月３日（金）　　天候：曇り

## 2　調査結果

### （１）時間帯別

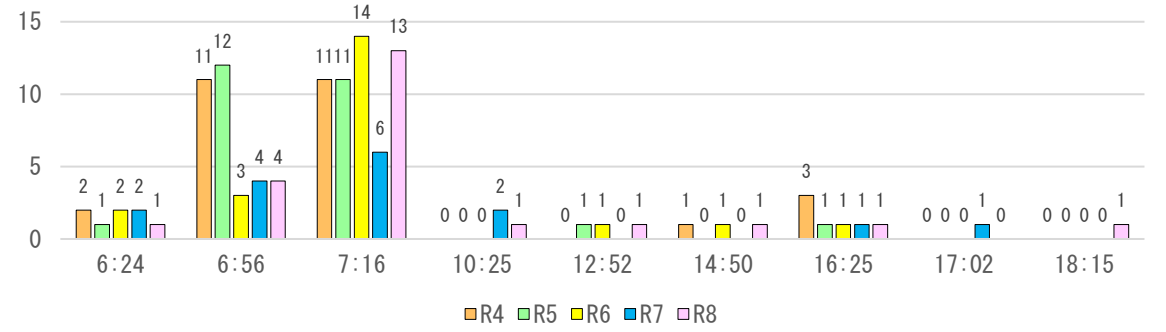
御前崎総合病院（浜岡営業所）行　　（人）

| | 7:37 | 8:05 | 11:00 | 13:00 | 14:40 | 16:20 | 17:00 | 18:30 | 19:44 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 10 | 4 | 1 | 10 | 7 | 6 | 2 | 5 | 1 | 46 |
| R7 | 12 | 3 | 1 | 6 | 2 | 5 | 2 | 5 | 2 | 38 |
| R6 | 4 | 4 | 1 | 1 | 4 | 0 | 7 | 5 | 1 | 27 |
| R5 | 1 | 5 | 5 | 4 | 1 | 4 | 2 | 3 | 5 | 30 |
| R4 | 2 | 6 | 0 | 1 | 1 | 3 | 6 | 0 | 2 | 21 |




相良本通行　　（人）

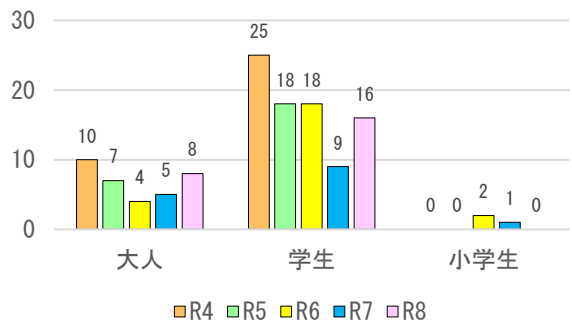
| | 6:52 | 7:22 | 9:00 | 12:15 | 13:55 | 15:37 | 16:17 | 17:47 | 19:07 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 3 | 18 | 2 | 2 | 2 | 7 | 4 | 4 | 1 | 43 |
| R7 | 1 | 15 | 3 | 2 | 2 | 5 | 3 | 4 | 2 | 37 |
| R6 | 2 | 11 | 4 | 1 | 3 | 3 | 2 | 1 | 1 | 28 |
| R5 | 4 | 11 | 4 | 2 | 1 | 4 | 2 | 3 | 1 | 32 |
| R4 | 7 | 10 | 6 | 3 | 2 | 2 | 1 | 3 | 1 | 35 |




### （２）利用者区分別

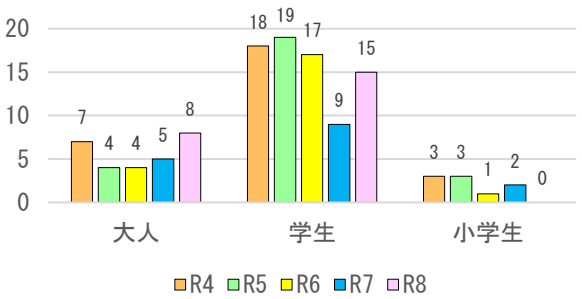
御前崎総合病院（浜岡営業所）行　　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 24 | 22 | 0 | 0 | 46 |
| R7 | 17 | 21 | 0 | 0 | 38 |
| R6 | 17 | 10 | 0 | 0 | 27 |
| R5 | 21 | 8 | 0 | 1 | 30 |
| R4 | 14 | 7 | 0 | 0 | 21 |



相良本通行　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 20 | 22 | 0 | 1 | 43 |
| R7 | 15 | 22 | 0 | 0 | 37 |
| R6 | 19 | 9 | 0 | 0 | 28 |
| R5 | 19 | 12 | 0 | 1 | 32 |
| R4 | 17 | 16 | 0 | 2 | 35 |

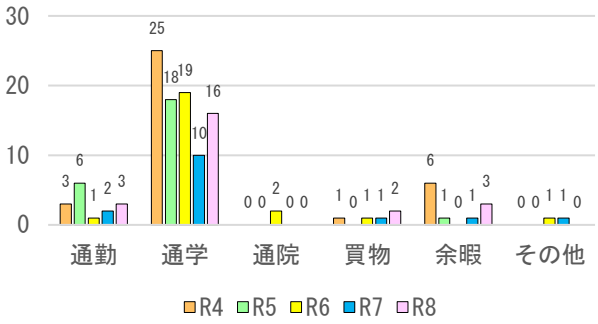



・御前崎総合病院行き 7：37 発の便について、大人・学生の利用者が増加
・同様に、相良本通行き 7：22 発の便についても、相良高校生の利用が増加している。

## （3）利用目的別

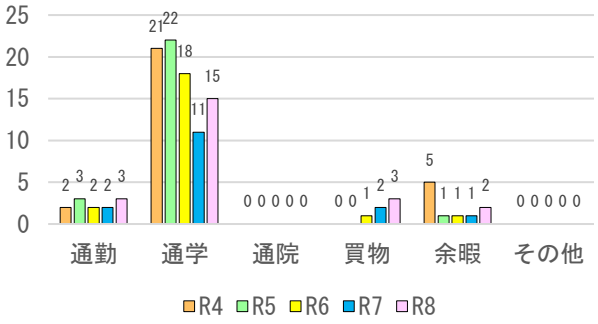
御前崎総合病院（浜岡営業所）行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 12 | 22 | 2 | 5 | 3 | 2 |
| R7 | 9 | 21 | 2 | 4 | 0 | 2 |
| R6 | 12 | 10 | 2 | 2 | 0 | 1 |
| R5 | 11 | 8 | 2 | 1 | 2 | 6 |
| R4 | 6 | 7 | 2 | 2 | 4 | 0 |




相良本通行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 11 | 22 | 2 | 6 | 1 | 1 |
| R7 | 10 | 22 | 2 | 2 | 0 | 1 |
| R6 | 9 | 9 | 7 | 2 | 1 | 0 |
| R5 | 9 | 12 | 2 | 4 | 3 | 2 |
| R4 | 8 | 16 | 1 | 0 | 4 | 6 |




## （4）令和８年度 OD 調査利用頻度別　※小学生を除く

①利用頻度

| 御前崎総合病院（浜岡営業所）行 | 偶々月数回 | 週 1 | 週 2～4 | 週 5 |
|---|---|---|---|---|
| 通勤 | 1 | 1 | 6 | 4 |
| 通学 | 5 | 0 | 0 | 17 |
| 病院 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| 買物 | 3 | 0 | 2 | 0 |
| 余暇 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| その他 | 1 | 0 | 1 | 0 |

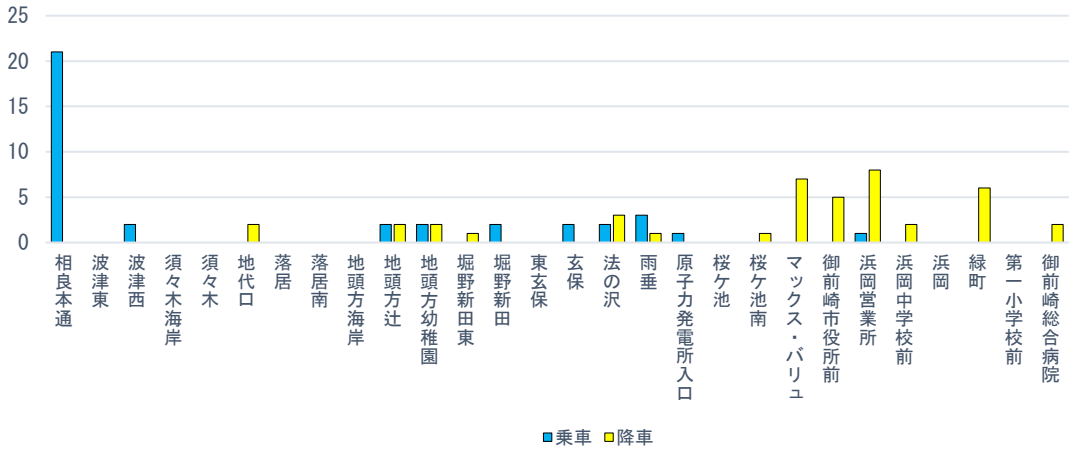
| 相良本通行 | 偶々月数回 | 週 1 | 週 2～4 | 週 5 |
|---|---|---|---|---|
| 通勤 | 0 | 1 | 3 | 7 |
| 通学 | 0 | 0 | 0 | 22 |
| 病院 | 1 | 0 | 1 | 0 |
| 買物 | 1 | 0 | 4 | 1 |
| 余暇 | 1 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 0 | 0 | 0 |

②通学学校別

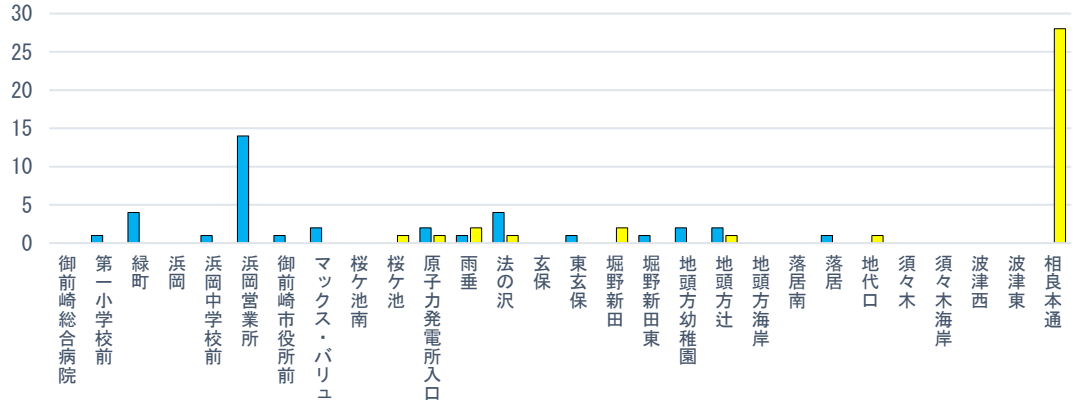
| ①御前崎総合病院（浜岡営業所）行 | | ②相良本通行 | |
|---|---|---|---|
| 相良高校 | 14 | 相良高校 | 13 |
| 池新田高校 | 5 | 吉田特別支援学校御前崎分校 | 6 |
| 吉田特別支援学校御前崎分校 | 3 | 池新田高校 | 1 |
| | | 榛原高校 | 1 |
| | | 中遠調理専門学校 | 1 |

③乗降場所

御前崎総合病院（浜岡営業所）行




相良本通行




・昨年度に引き続き、利用目的別では「通学」が最も多く、令和６年度と比較して２倍以上となっている。
・通学に関しては「週５」の利用頻度が最も多く、日常的に本路線が使用されている。
・御前崎市から相良高校に通う生徒が多い。
・乗降場所については、相良本通で乗降する割合が高い。

# 相良御前崎線 OD 調査結果について

（牧之原市地域振興課）

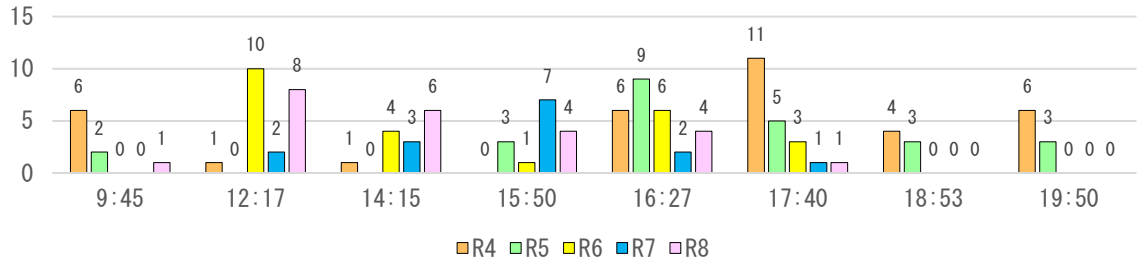
**１　調査日**　令和８年７月２日（木）　　天候：雨のち晴れ

**２　調査結果**

（１）時間帯別

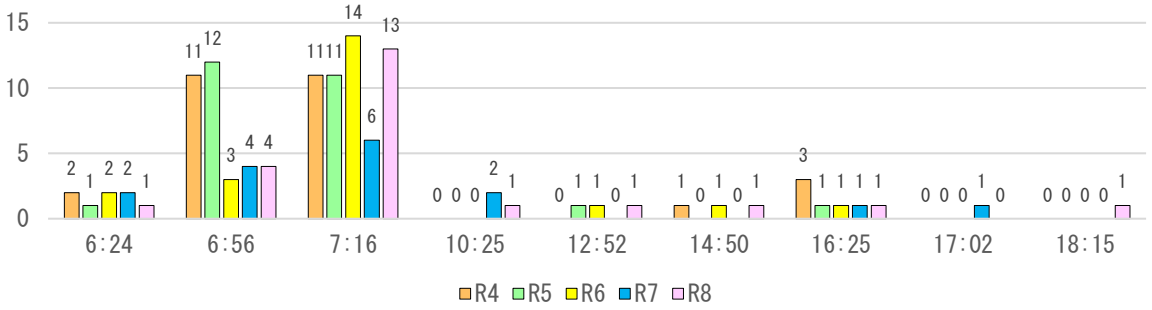
**御前崎海洋センター行**　　（人）

| | 9:45 | 12:17 | 14:15 | 15:50 | 16:27 | 17:40 | 18:53 | 19:50 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 1 | 8 | 6 | 4 | 4 | 1 | 0 | 0 | 24 |
| R7 | 0 | 2 | 3 | 7 | 2 | 1 | 0 | 0 | 15 |
| R6 | 0 | 10 | 4 | 1 | 6 | 3 | 0 | 0 | 24 |
| R5 | 2 | 0 | 0 | 3 | 9 | 5 | 3 | 3 | 25 |
| R4 | 6 | 1 | 1 | 0 | 6 | 11 | 4 | 6 | 35 |




**相良本通行**　　（人）

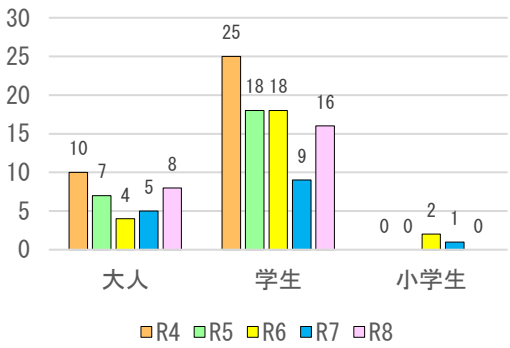
| | 6:24 | 6:56 | 7:16 | 10:25 | 12:52 | 14:50 | 16:25 | 17:02 | 18:15 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 1 | 4 | 13 | 1 | 1 | 1 | 1 | 0 | 1 | 23 |
| R7 | 2 | 4 | 6 | 2 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 16 |
| R6 | 2 | 3 | 14 | 0 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 22 |
| R5 | 1 | 12 | 11 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 26 |
| R4 | 2 | 11 | 11 | 0 | 0 | 1 | 3 | 0 | 0 | 28 |




（２）利用者区分別

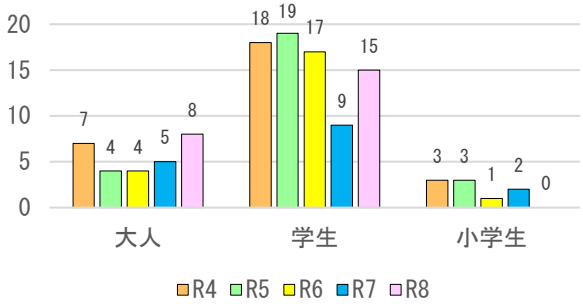
**御前崎海洋センター行**　　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 8 | 16 | 0 | 0 | 24 |
| R7 | 5 | 9 | 1 | 0 | 15 |
| R6 | 4 | 18 | 2 | 0 | 24 |
| R5 | 7 | 18 | 0 | 0 | 25 |
| R4 | 10 | 25 | 0 | 0 | 35 |



相良本通行　（人）

| | 大人 | 学生 | 小学生 | その他 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 8 | 15 | 0 | 0 | 23 |
| R7 | 5 | 9 | 2 | 0 | 16 |
| R6 | 4 | 17 | 1 | 0 | 22 |
| R5 | 4 | 19 | 3 | 0 | 26 |
| R4 | 7 | 18 | 3 | 0 | 28 |

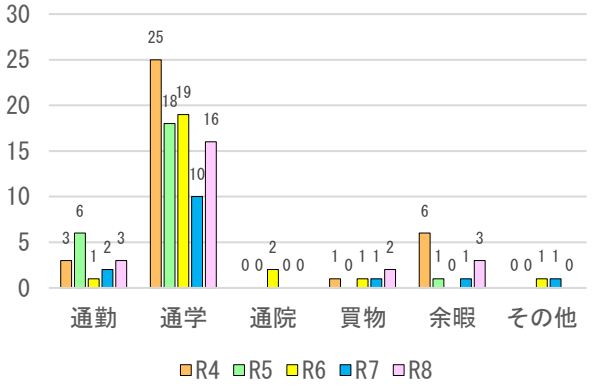



・通勤・通学・下校時間を除く時間帯は乗車人数０～１人の便が多い。
・特に、御前崎海洋センター行き 18：53 発、19：50 発の便については、３年連続で乗車人数が０人、相良本通行き 17：02 発・18：15 発についても利用者がほとんど見られない。
（・昨年度は、相良高校の登校日ではなかったため、学生利用が少なくなっている。）

## （３）利用目的別

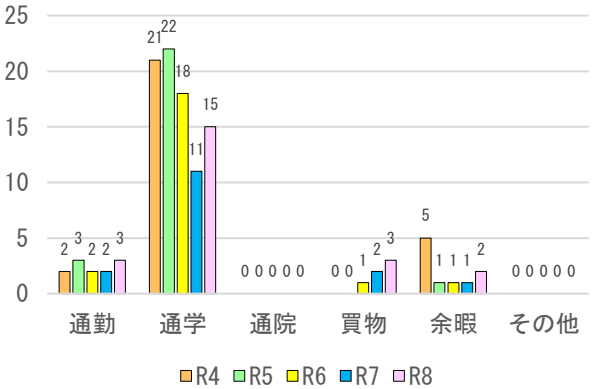
御前崎海洋センター行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 3 | 16 | 0 | 2 | 3 | 0 |
| R7 | 2 | 10 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| R6 | 1 | 19 | 2 | 1 | 0 | 1 |
| R5 | 6 | 18 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| R4 | 3 | 25 | 0 | 1 | 6 | 0 |




相良本通行　（人）

| | 通勤 | 通学 | 通院 | 買物 | 余暇 | その他 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| R8 | 3 | 15 | 0 | 3 | 2 | 0 |
| R7 | 2 | 11 | 0 | 2 | 1 | 0 |
| R6 | 2 | 18 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| R5 | 3 | 22 | 0 | 0 | 1 | 0 |
| R4 | 2 | 21 | 0 | 0 | 5 | 0 |




## （４）令和８年度 OD 調査利用頻度別　※小学生を除く

①利用頻度

| 御前崎海洋センター行 | | | | | 相良本通行 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 偶々月数回 | 週１ | 週 2～4 | 週５ | | 偶々月数回 | 週１ | 週 2～4 | 週５ |
| 通勤 | 0 | 0 | 1 | 2 | 通勤 | 1 | 0 | 1 | 1 |
| 通学 | 4 | 0 | 0 | 12 | 通学 | 3 | 0 | 0 | 12 |

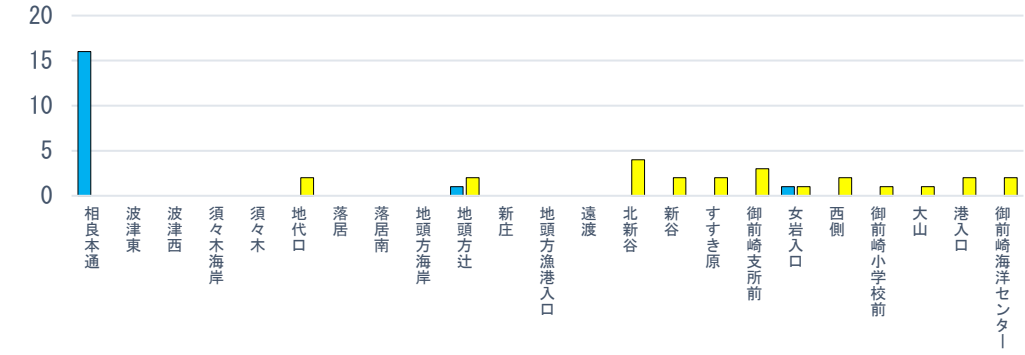
| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 病院 | 0 | 0 | 0 | 0 | 病院 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 買物 | 1 | 0 | 1 | 0 | 買物 | 2 | 0 | 1 | 0 |
| 余暇 | 3 | 0 | 0 | 0 | 余暇 | 2 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | その他 | 0 | 0 | 0 | 0 |

②通学学校別

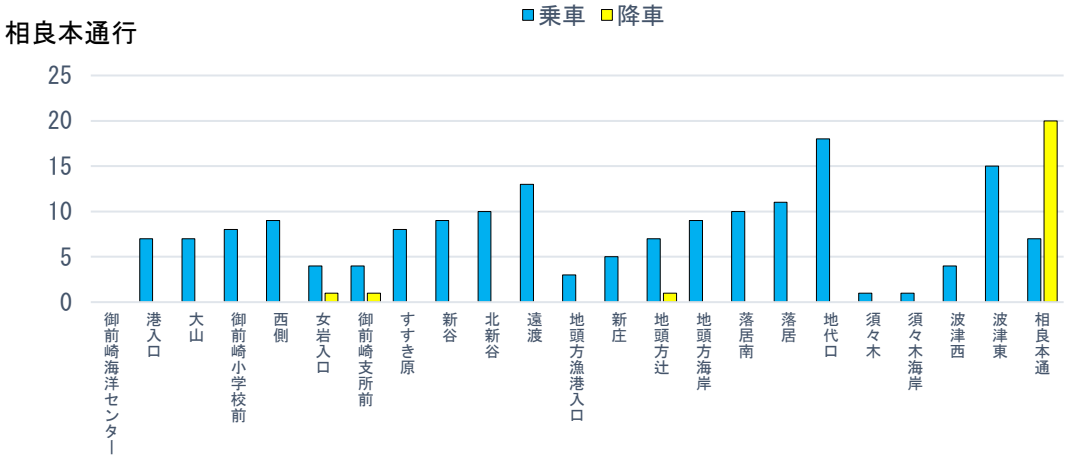
| ①御前崎海洋センター行 | | ②相良本通行 | |
|---|---|---|---|
| 榛原高校 | 7 | 榛原高校 | 4 |
| 相良高校 | 8 | 相良高校 | 10 |
| 吉田特別支援学校御前崎分校 | 1 | 吉田特別支援学校御前崎分校 | 1 |

③乗降場所別

御前崎海洋センター行




相良本通行




・通学での利用が半数以上を占めており、通勤での利用者も他路線と比較して少ない。
・通勤通学で週５日以上日常的に利用している割合が高いが、雨のみの利用者もいる。
・目的地としては、御前崎市から牧之原市内にある榛原高校や相良高校に通う生徒が多い。
・相良本通から榛原高校間は、特急静岡相良線または藤枝相良線に乗り換えて通学
・乗降場所ともに相良本通が中心である。

# 富士山型ネットワークシミュレーション調査の概要

資料3

●高台エリアのまちびらき等により、将来的な移動ニーズの変化が想定されます。
●ニーズの変化に対応した“富士山型ネットワークの形成”に向けて、ネットワークシミュレーションを実施し、公共交通の最適化を検討します。

## シミュレーション調査の検討背景・課題

✓高台エリアのまちびらき（令和１０年度）等による移動ニーズの変化を想定。
✓ニーズ変化に対応した富士山型ネットワークの形成に向けて、公共交通の最適化検討と計画への明記が必要。

**新たな公共交通ネットワークを**
**将来需要予測を踏まえつつ定量的に検証**




榛原・相良両市街地と高台エリアを**三角形**につなぎ、**人・モノ・サービスの交流を促進**する公共交通ネットワーク。

地図出典：OpenStreetMap

## 調査の流れとアウトプット

1. 現状分析・データ収集
2. 需要予測・シナリオ設定
3. シミュレーション実施
4. 評価・比較検討

シミュレーション調査によるアウトプット

- ✓ 顕在的・潜在的需要を定量的に把握
- ✓ 利便性、効率性、持続可能性の検証結果
- ✓ シミュレーションを踏まえ最適案を抽出

# 【補足説明】ネットワークシミュレーションシステム　SAVSの概要

**※SAVS（Smart Access Vehicle Service：スマートアクセスビークルサービス）とは…**
　タクシー（デマンド交通）と路線バス（乗合交通）の長所を掛け合わせた、AI によるリアルタイムな便乗配車計算を行うサービス

## SAVS（サブス）の特徴

SAVS Smart Access Vehicle Service

### AI配車

■需要発生時に最適車両を自動選択
■独自のAIアルゴリズムにより平均1秒程度で配車計算
■乗合率を最大化し、効率的な運行を実現

### シミュレーション機能

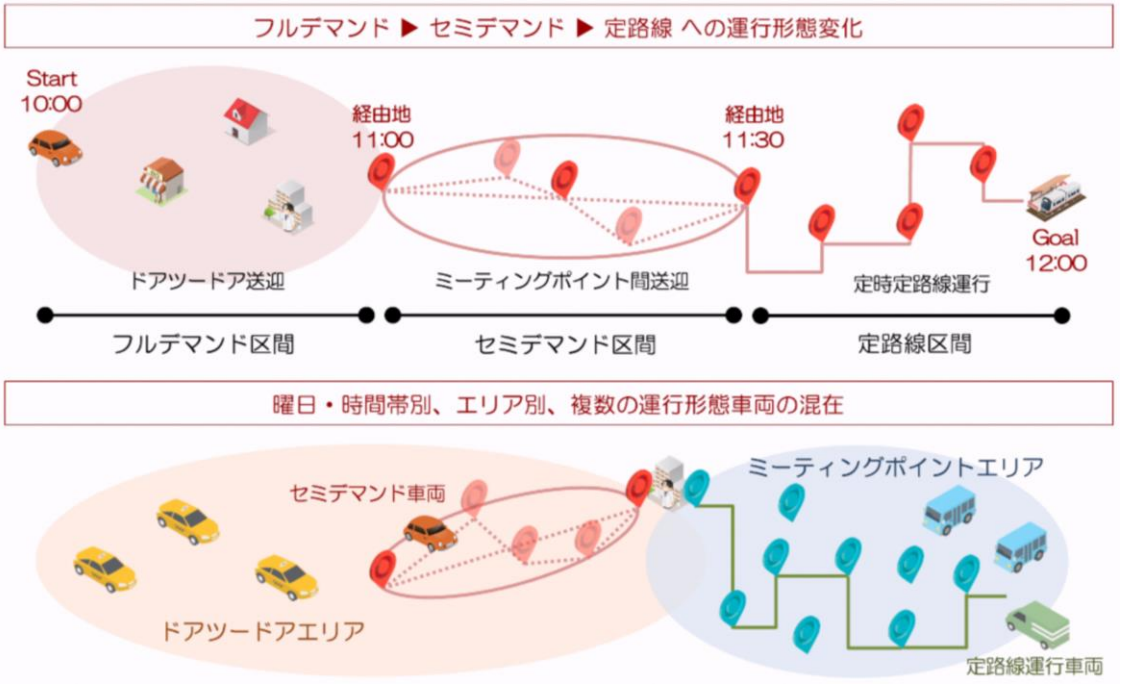
■OD需要を入力し、将来の運行を予測
■複数シナリオの比較検討
■車両台数の最適化
■費用対効果の評価が可能

### データ分析

■利用者分析・OD分析
■配車パラメータの最適化
■サービス水準の評価
■将来需要予測を支援

### マルチモーダル対応

■路線バス、AIオンデマンド交通、ライドシェア、自動運転車両など、多様なモビリティを統合管理
■異なる交通モードのシームレスな連携を実現



# 【補足説明】富士山型ネットワーク(案)の概要

●富士山ネットワークの構築に向けた将来の公共交通ネットワーク案として、“西部方面との接続”、“静岡空港・道の駅との接続”、“既存路線の再編(北方面軸の強化)”を検討します。
●将来の公共交通ネットワーク案は、ネットワークシミュレーションを実施し、定量的に検証します。

## 将来の公共交通ネットワーク(案)の考え方

### ①:西部方面との接続

高台エリアから菊川駅方面へのアクセス強化

- ✓新規路線により、西部方面(菊川駅)から高台エリアへ接続。
- ✓買物等の生活移動や、JR路線との接続による広域移動の利便性向上が期待。

×

### ②:静岡空港・道の駅との接続

空港・道の駅の周遊軸によるアクセス強化

- ✓空港・道の駅・高台エリアを周遊するネットワーク。
- ✓観光交流の促進や交流人口の増加、JR生活移動の利便性向上が期待。

×

### ③-1:萩間線の再編

富士山ネットワークの構築(北方面軸の強化)

- ✓萩間線の再編により、富士山ネットワークの北方面軸を強化。
- ✓買物等の生活移動や地域内移動の利便性向上、拠点連携の強化が期待。

×

### ③-2:勝間田線の再編

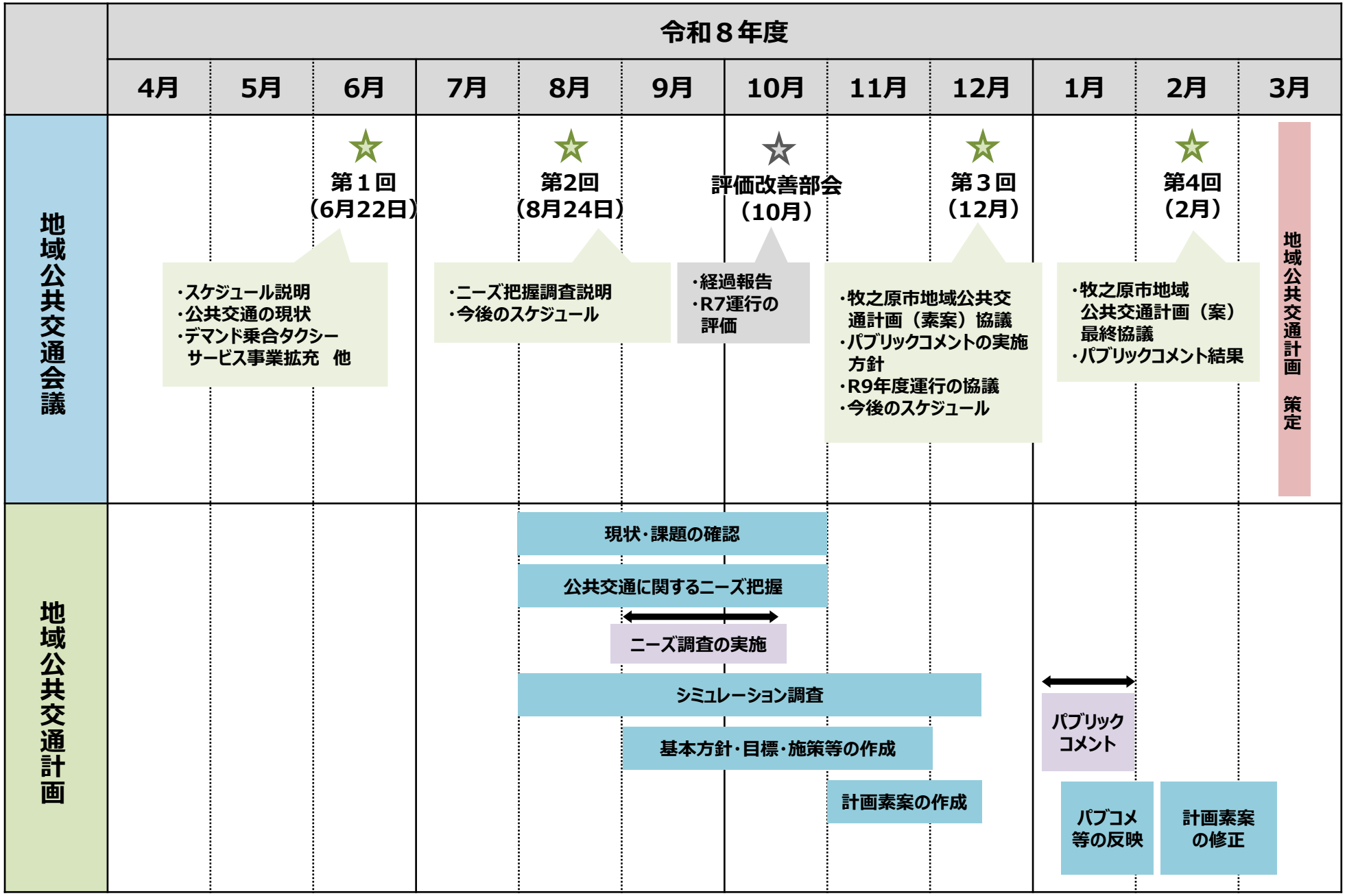
富士山ネットワークの構築(北方面軸の強化)

- ✓勝間田線の再編により、富士山ネットワークの北方面軸を強化。
- ✓買物等の生活移動や地域内移動の利便性向上、拠点連携の強化が期待。




地図出典:国土地理院撮影の空中写真

# 牧之原市地域公共交通計画策定までのスケジュール



資料４

# 牧之原市地域公共交通計画
# 市民ニーズ把握調査の実施方針

令和８年８月作成

地域振興課

目的

関係者や関係団体へのヒアリングや意見交換、アンケートを実施し、得られた情報を公共交通計画へ反映させる。

今回は、以下の方法で調査を行う。

| | | |
|---|---|---|
| ① | 交通事業者 | 交通事業者（４事業者）との意見交換 |
| ② | 関係団体 | 民生委員、社会福祉協議会、商工会など７つの組織との意見交換、アンケート調査 |
| ③ | 公共交通利用者 | バス、タクシーなど５つの利用対象者へのアンケート調査 |
| ④ | 潜在的利用者 | 小学生バス利用児童保護者、中３保護者、市内大規模企業など |
| ⑤ | 市内賑わい拠点 | 高台や沿岸部の開発事業者や静岡空港との意見交換 |
| ⑥ | その他関係組織 | 静岡県、共同運行市町、庁内関係課との意見交換 |

# ①　交通事業者

## 交通事業者、関係者の意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 路線バス事業者 | しずてつジャストライン㈱との意見交換 | ・バス事業の現状や課題の把握<br>・路線バスの改善 | ・現在の路線バスに関すること<br>・牧之原市の交通ネットワークについて<br>・運転士不足に対すること | 1回以上 |
| タクシー事業者 | 東海タクシー㈱、御前崎タクシー㈱との意見交換 | ・タクシー事業の現状や課題の把握<br>・デマンド乗合タクシーの改善 | ・現在のタクシーに関すること<br>・ライドシェア等の新たなモビリティに関すること<br>・運転士不足に対すること | 各事業者1回以上 |
| 市営バス運行事業者 | スルガ観光㈱との意見交換 | ・バス事業の現状や課題の把握<br>・市営バスの改善 | ・現在の市営バスに関すること<br>・運転士不足に対すること | 1回以上 |
| 矢崎部品㈱ものづくりセンター | 矢崎部品㈱との意見交換 | ・送迎バスの現状や課題の把握<br>・アローラインの拡充<br>・萩間線との連携 | ・現在の送迎バスに関すること<br>・今後のアローラインの方針 | 1回以上 |

# ②　関係団体

## 高齢者、障がい者などの意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 民生委員 | 役員等との意見交換 | 高齢者全般の移動に関する状況及び課題の把握 | ・高齢者の移動について<br>・困りごとや課題について | １回以上 |
| 高齢者<br>サロン団体 | 代表者への<br>アンケート調査 | サロン参加者の移動手段やサロン運営上の移動課題の把握 | ・サロン参加者の送迎について<br>・困りごとや課題について | 団体（約40団体）へのアンケート |
| 支え合い<br>活動団体 | 須々木区団体<br>との意見交換 | 共助型移動支援に関する状況及び課題の把握 | ・共助型移動支援の状況<br>・困りごとや課題 | 須々木区<br>１回 |

## 関係団体、組織の意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 福祉関係団体 | 社会福祉協議会との意見交換 | 高齢者や障がい者の移動手段検討及び共助型移動支援の拡大 | ・高齢者等の移動手段の現状と課題<br>・支え合い活動団体の活動支援方針 | 1回以上 |
| 商工関係団体 | 商工会との意見交換 | 夜間ライドシェアの導入と商工業との連携を通じた利用促進 | ・夜間ライドシェアの実施方針<br>・移動に対する課題<br>・商工業と公共交通の連携施策 | １回以上 |
| 観光関係団体 | まきのはら活性化センターとの意見交換 | 公共交通による誘客施策 | ・観光に必要な交通ネットワーク<br>・公共交通による誘客施策<br>・観光業と公共交通との連携施策 | 1回以上 |
| 榛原総合病院 | 榛原総合病院との意見交換 | 通院手段の改善及び通勤者の状況把握 | ・医療従事者及び通院者の移動手段<br>・特急静岡相良線の利用について | 1回以上 |

# ③　公共交通利用者

# 公共交通利用者の意見把握の方法

630人

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 対象者数 |
|---|---|---|---|---|
| 路線バス<br>利用者 | 特急バスの拠点バス停で乗車する利用者へのアンケート調査 | 一般利用者の移動に関する状況及び課題の把握 | ・利用状況<br>・利用目的<br>・困りごとや課題について | 約140人<br>（前回調査） |
| デマンド<br>乗合タクシー<br>利用者 | R8利用者へのアンケート調査 | 高齢者等のデマンド利用者の状況、課題の把握 | ・利用状況<br>・利用目的<br>・困りごとや課題について | 約170人<br>（R8実利用者） |
| 空港・道の駅定額<br>タクシー利用者 | 空港や道の駅利用者へのアンケート調査 | 空港、道の駅利用者の移動分析 | ・利用者情報<br>・利用目的<br>・利用しての感想 | 約150人<br>（目標） |
| 矢崎<br>アローライン<br>利用者 | アローライン利用者へのアンケート調査 | アローライン利用者の意向把握 | ・利用状況<br>・利用目的<br>・利用しての感想 | 約30人<br>（実利用者） |
| 高校生<br>通学定期券<br>補助者 | 高校生通学定期券補助者へのアンケート調査 | 補助事業の現状分析 | ・申請者情報<br>・補助がバス利用のきっかけとなっているか<br>・補助事業の感想、意見 | 約140人<br>（補助者） |

# ④　潜在的利用者

## 小中高生保護者などの意見把握の方法

1,350人

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 対象者数 |
|---|---|---|---|---|
| 小学生<br>バス利用<br>保護者 | 小学生バス利用世帯へのアンケート調査（大学との共同実施） | 小学生の移動に関する状況及び課題の把握 | ・自主運行バスの利用状況<br>・将来の交通ネットワーク<br>・困りごとや課題について | 約50人<br>（バス利用者） |
| 中学生<br>保護者 | 中学生世帯へのアンケート調査（大学との共同実施） | 中学生の交通に係る進路への影響や進学先に関する意向の把握 | ・進路とバス路線の関係性<br>・将来の交通ネットワーク<br>・困りごとや課題について | 約800人<br>（全世帯） |
| 市内高校生<br>及び保護者 | 高校生世帯へのアンケート調査（大学実施）　※実施済み | 高校生の移動課題の把握 | ・豊橋技術科学大学によるアンケート調査 | 500人<br>（回答者） |

## 一般市民等の意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 高校生 | 地域リーダー育成プロジェクトでの交通に関するワークショップ | 高校生の意見反映 | ・高校生の移動について<br>・困りごとや課題について | 1回 |
| 市内企業 | 市内の大規模企業（前回15社）へのアンケート調査 | 企業の通勤ニーズや従業員送迎バスと公共交通の連携について調査 | ・企業情報<br>・従業員の通勤の状況<br>・送迎バスについて<br>・公共交通利用の可能性について | 15社へのアンケート調査 |
| 一般市民 | 素案完成時にパブリックコメントを実施 | 一般市民の意見反映 | 1月頃にHPやLINE、広報で意見を募集 | 1回 |

# ⑤　市内賑わい拠点

## 市内企業、賑わい拠点の意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 高台開発<br>事業者 | 事業者との意見交換 | 高台エリアと市街地及び近隣JR駅、静岡空港との接続や、バスターミナル機能の協議 | ・交通ネットワークについて<br>・バスターミナル機能について | 1回以上 |
| 沿岸部開発<br>事業者 | 事業者との意見交換 | 沿岸部エリアの交通ネットワーク整備 | ・交通ネットワークについて<br>・誘客施策について | 1回以上 |
| 静岡空港 | 事業者との意見交換 | 空港アクセスバスの現状と課題、道の駅との連携 | ・空港アクセスバスの状況について<br>・将来の空港周辺の交通ネットワークについて | 1回以上 |

# ⑥　その他関係組織

## 県、関係市町、庁内関係課の意見把握の方法

| | 実施方法 | 目的 | 内容 | 実施回数 |
|---|---|---|---|---|
| 静岡県 | 交通関係課、空港関係課との意見交換 | ライドシェア、自動運転推進や空港アクセスバスの方向性確認 | ・ライドシェアや自動運転の推進<br>・空港アクセスバスの方向性 | 1回以上 |
| 共同運行市町、近隣市町 | 島田市、菊川市、御前崎市、吉田町との意見交換 | 自主運行バスの見直しや利用促進、市町間の連携 | ・萩間線の高台接続<br>・勝間田線の方針<br>・相良御前崎線、相良浜岡線の方針<br>・市町間の接続方針 | 各市町１回以上 |
| 庁内関係課① | 部単位のヒアリング<br>・建設部<br>・福祉子ども部<br>・健康推進部<br>・産業経済部<br>・教育文化部 | 庁内の横断的な推進及び担当部局との連携 | 建設部：将来の道路整備<br>福祉こども部：障がい者対応<br>健康推進部：高齢者対応、免許返納推進<br>産業経済部：商工、観光施策との連携<br>教育文化部：現在の通学課題及び将来の通学手段 | 各部１回以上 |

公共交通会議委員の皆様

意見交換等へのご対応よろしくお願いいたします。
（9月～10月実施予定）

資料５

# ライドシェアに係る検討状況について

（企画政策部地域振興課）

## １　概要

夜間の飲食店利用促進及び地域経済の活性化を図ることを目的に、昨年 12 月に市内飲食店事業者から市へ夜間ライドシェアに関する提言書が提出された。

今年６月に勉強会を開催、その後関係者間での打合せを重ね、現在は市内飲食店事業者や宿泊事業者を中心とした夜間ライドシェア構想が進んでいる。

当市としても、夜間の時間的空白解消を図り、市民の足を確保するため、関係者との協議・調整及び支援を行う。

## ２　運行内容（案）

| | |
|---|---|
| 運行曜日 | 毎週金曜日・土曜日 |
| 運行時間 | 午後 10 時・午後 11 時・午前０時の３便 |
| 運行形態 | 運賃無料（運輸支局の許可・登録不要）<br>事前予約制 |
| 運行範囲 | 相良地域 |
| 車　　両 | 中電貸与車のハイエース（地域振興課管理）<br>８人乗り（運転手含む） |
| 運行方法 | 最適ルートを検索する AI アプリを利用し、利用者の自宅付近まで送迎する仕組みを想定 |
| 財　　源 | 参画飲食店からの負担金及び企業協賛金を想定 |

## ３　導入スケジュール

| | |
|---|---|
| ７月 | プロジェクトチーム発足 |
| ８月 | 運行マニュアル制定、バスルートの策定、ルート検索 AI アプリの準備、静岡運輸支局への事前相談　等 |
| ９月 | 運転手の確保、市内飲食店・企業への説明及び参画希望受付 |
| 10 月 | スケジュール確定、市民への告知、勉強会第２回 |
| 11 月 | 仮運行による検証 |
| 12 月 | 正式運行開始 |

## ４　その他

（１）運行主体や運転手については、今後関係者との協議を重ねる。

（２）運行管理は、静岡県が実施する「ライドシェア等共同運行管理」の仕組みを活用予定

# 庄内交通株式会社・鶴岡市 （山形県鶴岡市）

資料６




庄内交通・鶴岡市が多様な分野で連携・協働し、市内循環バスの再編を実施。車両のダウンサイジング・運行の多頻度化や、きめ細かな運行ルートの設定により利便性を向上。地域に入り込んだ熱心な利用促進と相まって、利用者数は再編前と比較して約5倍に増加。

## （取組の概要）

### １．多様な主体の実質的参画

●庄内交通と鶴岡市は、利用が低迷する市内循環線について、令和2年頃から再編に向けて協議。住民へのアンケート等も踏まえ、令和3年3月に「鶴岡市地域公共交通計画」を策定し、市内循環線を含む公共交通ネットワーク再編・利用促進に着手した。

●交通部局以外の関連部局・バス沿線町内会が連携を図り※、高齢者をメインターゲットとした運行ルートを検討。（※福祉部局:高齢者が多い地域のリストアップ等、土木部局：バス停設置、除雪・積雪に係る情報提供等、商工観光部局：買物動向や観光移動に係る情報提供等、町内会：運行ルートやバス停に係る要望や提案等）

●多様な関係者が路線再編に参画した結果、医療機関やスーパー等の生活施設、高齢者の多い住宅地を通るなどこれまでよりも利用しやすい運行ルートを実現（既存2コースの見直し・1コースの新設）。

### ２．創意工夫

#### （１）きめ細かいバス停設置による利便性向上

●単独世帯のうち65歳以上の住民の割合が50%以上の区域をリストアップ。同区域では各住戸～バス停の距離が約300m以内となるよう間隔を狭めてバス停を設置し(58か所⇒79か所)、利便性を向上。

#### （２）車両のダウンサイジング

●従前の中型バス（定員約25人）に代えて、12人乗りの小型車両を導入することで、これまで道路状況により入ることができなかった高齢者が多く居住する住宅地にも運行が可能となった。

#### （３）多様な利用促進策の実施

●庄内交通は従来からバスの乗り方教室を開催し、市内循環線バスの案内・バスの乗車体験・ICカードのお得な利用方法の説明を実施。路線再編後も、こうした場で高齢者向け定期券（市が補助）や１日乗り放題券の販売を促進。再編に際しては、地域内全戸へのチラシ配布のほか、高齢者体操教室・町内会・学校等への訪問・説明（市関係部局と協働）など、地域の隅々にまで入り込んだ熱心な利用促進を実施。

### ３．自立性・継続性

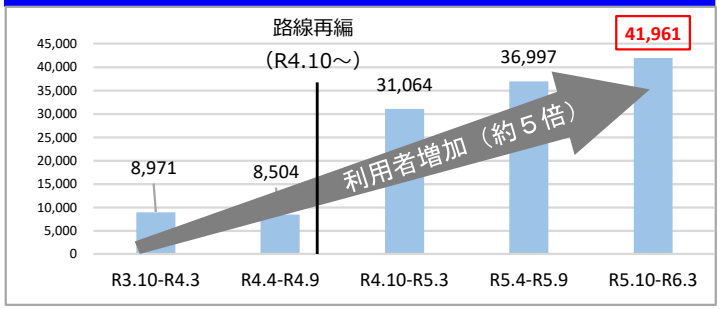
●中型二種免許で運転可能な小型車両の導入により、女性や年配者、初任者でも運転しやすく、乗務員不足解消への寄与が期待（再編後女性２名、若年者１名採用）。市では二種免許取得支援事業を実施。

●観光需要の取込のため、バスマップに市街地観光情報を落とし込んだ「つるおかまちあるき」MAPを作成し、広く配布するなどして地域住民の利用と観光客利用の両立を目指している。

▼市内循環バスの再編概要

| | 再編前 | 再編後 |
|---|---|---|
| 車両定員 | 約25人 | 12人（ハイエースを導入） |
| 運行便数 | 12便/日 | 48便/日 |
| バス停数 | 58ヶ所 | 79ヶ所（約300mに1ヶ所） |
| 路線数 | 2路線4系統 | 3路線6系統 |
| 運行日 | 月～金曜日 | 毎日（年末年始除く） |
| 運賃 | 200～420円 | 一律300円 |

▼市内循環線　利用者数の推移




▼鶴岡市内循環バス



▼高齢者体操教室でのバス情報提供



▼高齢者向け定期券




▼「つるおかまちあるき」MAP

